

すいた 社協だより

2019.9
vol.118

- 1面：いきいきがうまれる
- 2面：増やそう!
アクティブシニア
- 3面：吹田市社協の
権利擁護支援
- 4面：吹田市社協からの
お知らせ

吹田市社協

検索

発行・編集 / 社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会 〒564-0072 吹田市出口町19-2(総合福祉会館2階) TEL.06-6339-1205 FAX.06-6339-1202

困った時はお互いさま
“助け愛隊”



身近な場所でボランティア
“地区福祉委員”



高齢者施設などで社会貢献
“介護支援サポーター”

得意な分野で活動
“ボランティアセンター登録ボランティア”

吹田市社会福祉協議会は、みんなの“いきいき”をサポートします。

吹田市には、いきいき元気に“人のため”、そして“自分のため”に地域で活動している高齢者がたくさんおられます。そんな高齢者のさまざまな“思い”を吹田市社協はサポートしています。

今回の社協だよりでは、吹田市社協が実施する様々なサポートの中から、高齢者の社会参加と生活支援の充実に向けて取り組む「高齢者生活支援体制整備事業」の取り組みをご紹介します。

吹田市社協が大切にしている“思い”を少し感じていただければ幸いです。

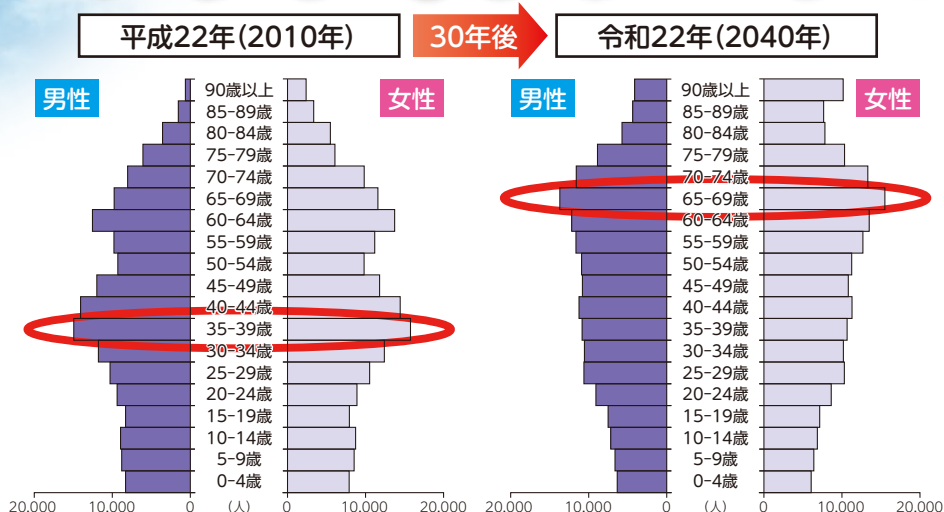
増やそう! アクティブシニア!

少子高齢化が進む吹田市

吹田市の高齢化率は23.7% (平成30年9月末現在)。今後も高齢社会が進むことが予想されています。

右のグラフのように平成22年では「35歳～39歳」が最も多かったのが、30年後は「65歳～69歳」が最も多くなり、少子高齢化が顕著となります。

これからも高齢者が、この吹田でいきいき笑顔で暮らし続けるために、吹田市社協では平成28年度より、吹田市の委託を受けて、以下のような事業に取り組んでいます。



出典:第7期 吹田健やか年輪プラン(吹田市福祉部高齢福祉室)
※一部、吹田市社協で加工

吹田市社協が今取り組んでいること。 ～高齢者生活支援体制整備事業～

地域元気アップ講座

アクティブシニア大活躍!

高齢者の社会参加やボランティア活動への参加をサポートする機会として、また既存の活動を充実させるための担い手の養成として「地域元気アップ講座」に取り組みました。



助け愛隊

困った時はお互いさま

電球交換、大型家具の搬出、季節家電の入れ替え、庭の草抜きなど「ちょっと困っている」という高齢者の声と、「ちょっと手伝える」という住民の思いをマッチングする仕組みです。

必要に応じて地域包括支援センター、社協CSWなどによる支援につなげます。



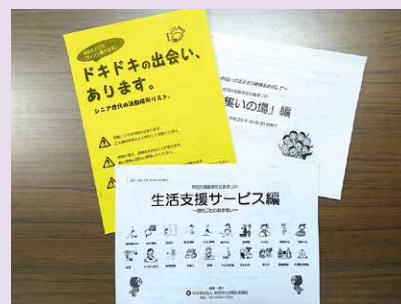
高齢者のためのリスト

お役立ち情報を集めました

地域で取り組まれているサロンをまとめた「集いの場編」、生活支援サービスをまとめた「生活支援サービス編」、社会参加・ボランティア活動情報をまとめた「シニア世代の活動場所編」を作成。

詳しくはお近くの地域包括支援センター、吹田市社協まで。

※HPにも掲載しています。



講座終了後、福祉委員会で活動されている方にインタビュー

- 福祉委員会のサロンではいろいろな情報を得られるし、体も動かせます。自分にとって、とてもよい時間となっています。
- みんな優しいですし、頼りにされることも嬉しいです。

これまでも。これからも。令和になっても変わらない。

吹田市社協では平成28年度より生活支援コーディネーターを配置しました。多様な団体・事業者で構成する「すいたの年輪ネット(高齢者生活支援体制整備協議会)」での議論を経て、今回ご紹介した取り組みにつながっています。

時代とともに福祉制度・サービスは変化しますが住民同士の助け合いは普遍です。

今後も地域住民、アクティブシニア、事業所など、地域の力を生かしたコーディネートを行い、福祉のまちづくりを進めます。
(事業担当者)



吹田市社協
イメージキャラクター
「きらら」

吹田市社協の 権利擁護支援 ～自分らしさを大切に～



Q1 権利擁護支援って何？

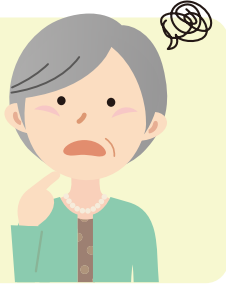
A1 認知症、精神障がい、知的障がいなどで判断能力が十分でなく生活に支障がある方も、“自分らしい生活”を送ることができるようにサポートをすることです。



Q2

近所に心配な人がいるんだけど、どうしたらいいかな？

近所のA子さんは86歳でひとり暮らし。家族の一員として長年かわいがっている猫のミャーコと仲良く暮らしてきました。最近、年金手帳など大切な書類を失くしたり、家賃や光熱費の支払いもきちんとできていません。認知症が少し進み、一人でスーパーに行くことも難しいようです。

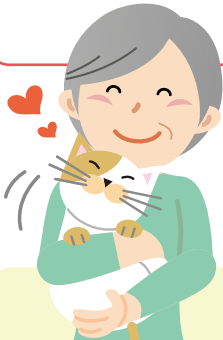


A2

吹田市社協の“日常生活自立支援係”にご相談ください。日常生活自立支援事業では、主に以下のようなお手伝いを通して“自分らしい生活”をサポートします。

- 家賃や光熱費等の支払い、生活費のお渡しなど、日常的な金銭管理のお手伝い。
- 年金手帳などの重要な書類を、銀行の貸金庫でお預かり。
- 安心して暮らせるために必要な福祉サービス（ヘルパーによる買物支援など）についての情報提供や相談、利用するときの手続きのお手伝い。

A子さんの場合、「愛猫との暮らしを続けたい」という本人の思いを大切にして、必要なお手伝いをします。利用料など事業の詳しい内容はお問い合わせください。



吹田市社協では、日常生活自立支援事業では支援が難しくなった方（判断能力が低下した方など）の後見人などになり、継続して本人の思いに寄り添い、財産管理などの支援を行う法人後見事業にも取り組んでいます。

自分らしさを大切に生きる

権利擁護支援は社協だけで取り組むものではありません。本人を中心に広がる“地域住民や専門職による支援の輪”が吹田にたくさんできるよう、これからも日々の支援に取り組んでいきます！（事業担当者）

始まります！

第73回 赤い羽根共同募金運動

10月1日～12月25日

赤い羽根共同募金運動は、身近な地域の福祉活動を応援するための募金です。吹田市内でご協力いただいた募金は、吹田のまちの地区福祉委員会の活動や、大阪府内の福祉施設・団体の活動に役立てられています。

募金は主に自治会を通してご協力いただく他、街頭での呼びかけや募金箱の設置も行っています。また、企業や商店からのご協力もいただいています。

吹田のまちを良くする募金に、ご協力をお願いします。



吹田市社協からのお知らせ

〒564-0072 吹田市出口町19-2総合福祉会館2階

●総務課 (TEL06-6339-1205)
 ●地域福祉課 (TEL06-6339-1254)
 ●ボランティアセンター (TEL06-6339-1210)
 ●日常生活自立支援係 (TEL06-6339-5700)
 FAXは …………… 06-6339-1202 (共通)

金戸省三新会長にきく



令和元年5月31日の理事会にて新しく吹田市社協会長に就任。

【金戸会長メッセージ】

吹田市社協では、地区福祉委員会をはじめ多くのボランティア、そして福祉専門機関や行政と共に地域福祉の推進に取り組み、私自身も地区福祉委員会の一員として、日々、吹田の皆さんと共に汗を流しております。

地域福祉には、「これは正しく、これは間違っている」という答えはありませんが、1つ1つの事業、そして活動に「安心して暮らし続ける福祉のまちづくりのために」という想いを込め、そして高齢者から子どもまで、みんなが笑顔でつながり、**ふだんのくらしの中でしあわせ**を感じられるよう取り組んでいきたいと思ひます。

始めてみませんか?介護支援サポーター活動

市内の高齢者施設などで2時間程度お話し相手や囲碁・将棋の相手などを行う活動です。

3日間の講座を受講し、サポーターとして活動すると「ポイント」が付与され、助成金が交付されます。



◆対象：65歳以上の吹田市民で介護保険料の滞納がなく、介護保険サービスを利用していない方

◆場所：総合福祉会館2階 第3会議室

◆時間：毎回14時～16時 ◆参加費：無料

●問い合わせ：総務課

〈介護支援サポーター養成研修スケジュール〉

実施月	1回目	2回目	3回目
10月	7日(月)	15日(火)	21日(月)
11月	11日(月)	19日(火)	26日(火)
12月	2日(月)	10日(火)	17日(火)

精神保健福祉ボランティア養成講座

精神保健福祉ボランティア活動を学びませんか。
 ※3回講座。期間中に1日以上の実験実習があります。

◆日時：1回目 11月19日(火) 2回目 11月27日(水) 3回目 12月3日(火) 時間はすべて13時半～15時半

◆場所：総合福祉会館

◆参加費：無料(ボランティア活動保険未加入の方は各自300円負担)

◆申し込み：10月1日(火)から受付開始

●問い合わせ：ボランティアセンター



心配ごと相談

日常生活の様々な悩みや心配ごと、経験豊かな相談員が応じます。相談の内容は問いません。

◆相談日：毎週水曜日13時～15時

◆場所：総合福祉会館2階 吹田市社協
 ※予約不要(来館での相談です)
 ※相談無料
 ※秘密は厳守いたします

●問い合わせ：総務課



ホームページが13年ぶりにフルリニューアル!

ぜひご覧ください。

吹田市社協

検索

スマートフォンでもご覧いただけます。



平成30年度 事業報告・決算報告

- 昨年、吹田市では、6月に大阪府北部地震、9月に台風21号と大きな自然災害に見舞われました。吹田市からの要請を受けて、吹田市災害ボランティアセンターの設置・運営をし、多くの方のご協力を得て、生活再建の支援に取り組みました。
- ボランティアセンターは、開設30周年を迎え、ボランティアと共に歩んできたこれまでの取り組みや経過をまとめた「30周年記念誌」を発行し、これからのボランティアセンターについて考える機会となりました。
- 生活支援コーディネーターが、高齢者が社会参加するきっかけとなるよう、「地域元気アップ講座」を開催した他、新たな支え合う仕組みとして、「助け愛隊」のボランティア養成講座を開催しました。
- 権利擁護の取り組みについて、地区福祉委員や関係機関などに、報告会を実施しました。

平成30年度 社会福祉事業会計決算報告(概要) (資金収支計算書より)

収入	金額(千円)	支出	金額(千円)
会費収入	14,002	法人運営事業	175,867
寄付金収入	4,310	ボランティア活動推進事業	618
経常経費補助金収入	86,958	小地域ネットワーク活動推進事業	29,177
受託金収入	119,726	善意銀行事業	1,440
事業収入	3,459	共同募金配分金事業	5,272
介護保険事業収入	66,447	日常生活自立支援事業	25,601
受取利息配当金収入	7,326	居宅介護支援事業	10,440
その他収入	1,111	内本町デイサービス事業	64,977
当期収入計①	303,339	福祉ボランティア基金事業	1,930
		当期支出計②	315,322

平成30年度収支差額(①-②) △ 11,983千円

